

小さな美術館 ～御返地小学校～

川畑 龍平 くん (1年)
堂ヶ澤 風亜空 さん (1年)



工作『おいしいよ』
「粘土で作りました。細かい模様や粘土で丸みを作るところを頑張りました。」

田口 聖来 さん (2年)



絵画『夏たまご』
「泳いでいる人の水着を頑張って書きました。家族と楽しい夏をイメージしました」

田口 瑛大 くん (3年)



絵画『むし歯あるかな?』
「時計などの周りの物を細かく描くところをこだわりました。座っている人の足が難しかったです」

Little Art Gallery

こしゃーる ～学びの広がるまちづくり、未来を拓く人づくり～

～槻蔭舎きぼう塾 郷土を知る講座～
発見！体験！蓑ヶ坂トレッキング



かご立場からの美しい景色に感激

9月28日に金田一温泉駅から蓑ヶ坂を越え約8kmを歩く「奥州街道・蓑ヶ坂トレッキング」が行われ中学生やその保護者など約20人が参加しました。

よりゃんせ金田一(久保田滋子代表)のガイドで姉滝、釜沢城跡など奥州街道沿いの伝承、史跡などに触れながら歩を進めます。蓑ヶ坂を登り切ると眼下に広がるのは鮮やかな風景。展望台から蛇行する馬淵川やリンゴ畑、稲穂が揺れる田んぼなど美しい自然を堪能しました。

参加者からは「景色もきれいで歴史についても勉強になった」などの感想も聞かれ、充実したトレッキングになりました。

第34回日本文化のつどい
～箏と日本舞踊、響き合う和の世界～



二戸市文化祭ステージ部門「日本文化のつどい」が10月13日、市民文化会館で開催され、市芸術文化協会に所属する箏や日本舞踊の3団体が日頃の成果を発表しました。

最初に箏曲「秋の日」が二重奏で奏でられました。重なり合う箏の音色は季節の移ろいを豊かに表し会場を包みこみました。続く、日本舞踊では古典の長唄、常磐津や新舞踊など数々の演目を披露。華麗な振りや細かなしぐさで物語や情景を表現し観客を魅了しました。

Social Learning

にのへの先人 ～過去を知り、未来を見据える～

岩手考古学の祖 小田島 禄郎

平成4年発行の『岩手県立博物館収蔵資料目録第8集考古Ⅱ』の扉文に「本県の考古学的研究が本格的に始まるのは大正時代といわれていますが、その中心となった一人が小田島氏でありました。氏の足掛け30年に及ぶ考古学・郷土史研究の成果は、1万点を越す膨大なコレクションを形成し、「小田島コレクション」として広く全国に知られております」とある。ここで言う小田島氏とは、これから先人として紹介する小田島禄郎(1881 - 1953)その人である。

禄郎は、明治14年二戸郡浄法寺村(現二戸市浄法寺町)に生まれる。岩手県師範学校卒業後、県内各地の小学校で教師をしながら、考古学・郷土史研究を進めた。大正12年42歳の時、岩手県史跡名勝調査会委員に任命される。すでにこの頃、県内の遺跡に精通した人物として内外に知れ渡る存在であった。京都大学や東北大学など当時最先端の学者を案内したり、ともに遺跡発掘に携わったりするなど、その研究は高度なものであった。46歳の時、

禄郎は正規の教員をやめ、研究に専念する道を選んだ。住所も盛岡に移し、そこを拠点に、県内にとどまらず全国の遺跡を踏査した。52歳の時、南部史談会を立ち上げ同好の人たちを組織する。続いて54歳の時、岩手考古学会発足にも携わる。40代後半から50代半ばまでが研究者として最も充実した期間であった。しかし、時代は戦争へと向かっていた。歴史研究に打ち込んでいた禄郎であったが、親の病氣も重なり、突然、その走りを停止しふるさと浄法寺へ帰ってしまう。昭和11年禄郎55歳の時であった。

古い時代の土器などは、発掘された場所と状態がわかってはじめて考古学的な価値が生まれる。禄郎が調査したものはこの条件を備え、今なお研究に利用されている。次回から、研究の成果や情熱の源を追っていく。

文：浄法寺歴史民俗資料館 松本佳江 館長

参考文献、写真：岩手県立博物館収蔵資料目録考古Ⅱ～Ⅴ

Greats of Ninohe

図書館情報



忍びの作法

山田雄司 著

近年解明されつつある忍者の実像に迫り、驚異的な忍者の知恵と技について明らかにする。



小中学生のための初めて学ぶ著作権

岡本薫 著

インターネットの普及で著作権は、すべての人々に関わるものとなった。著作権をわかりやすく解説。



やってもやっても終わらない名もなき家事に名前をつけたらその多さに驚いた

梅田悟司 著

無限にある家事に見える化し、その大変さと尊さを伝える。

市立図書館 11月の行事

日本古典文学講座 (3階視聴覚室)

【日時】11月2日(出)、9日(出)、16日(出)午後1時30分～3時

岩手の馬文化＜岩手県立図書館巡回企画展＞

【期間】11月8日(金)～17日(日)

企画展 夫婦いろいろ (一般)、第31回読書感想画中央コンクール指定図書 (児童)、糖尿病 (福祉センターとの連携企画)

★図書館駐車場にある「ブックポスト」は、11月から閉館時間のみの利用に変更しました。開館時の本の返却は、カウンターまでお願いします

〈今月の休館日〉

◎市立図書館：11月5日、11日、18日、25日、29日(館内整理日)、12月2日

◎浄法寺カシオペアセンター：11月5日、11日、18日、25日、12月2日

問い合わせ先 市立図書館 (☎23-3447) 浄法寺カシオペアセンター (☎38-4117)

Library Information